

2002年7月8日

代謝改善解毒剤「チオラ錠 100」、シスチン尿症の効能の追加承認取得

参天製薬株式会社（本社：大阪市 社長：森田隆和）は代謝改善解毒剤「チオラ錠 100」のシスチン尿症の効能の追加承認を7月5日に取得しました。

「チオラ錠 100」は、慢性肝疾患における肝機能の改善、初期老人性皮質白内障、水銀中毒時の水銀排泄増加の効能を有する代謝改善解毒剤ですが、この度、シスチン尿症の効能が追加承認されました。

シスチン尿症は、遺伝的なアミノ酸代謝の異常により尿中にシスチンなどのアミノ酸が多量に排泄される疾患です。シスチンが水に難溶性のため、すべての症例ではありませんが一部の患者で尿路結石を形成する場合があります。日本で正確な患者数は調査されていませんが、シスチン尿症は約一万人、そのうちシスチン結石症は約千人程度とされています。

チオラ錠 100 は、生体内でこのシスチンと反応し難溶性のシスチンを易溶性の化合物に化学変化させることにより、結石を溶解させたり結石の形成や再発を防ぎます。

- チオラ錠 100 -

販売名	チオラ錠 100 (Thiola tablets 100)
有効成分	チオプロニン (tiopronin)
効能・効果	慢性肝疾患における肝機能の改善、初期老人性皮質白内障、水銀中毒時の水銀排泄増加、シスチン尿症
発売	1970年8月
売上高	年商 4億円(2002/3月期)

以上